

(電子メール施行)
農技第 1474 号
令和5年7月20日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

令和5年度病虫害発生予報第3号を發表します。

令和5年度病虫害発生予報 第3号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
水稲	いもち病	平年並	やや少
	紋枯病	平年並	やや少
	縮葉枯病	平年並	やや少
		(一部やや多)	
	セジロウンカ	平年並	やや少
	トビイロウンカ	やや少	少
	ヒメトビウンカ	やや多	平年並
	ツマグロヨコバイ	平年並	やや少
	斑点米カメムシ類	平年並	やや少
	イネツトムシ	平年並	やや少
フタオビコヤガ	やや少	やや少	
コブノメイガ	やや少	少	
なし(青なし)	黒斑病	やや多	やや多
	黒星病	平年並	平年並
	ハダニ類	平年並	やや少
	アブラムシ類	平年並	やや少
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや多	平年並
	シロイチモジヨトウ	やや多	やや多
	ハイマダラノメイガ	やや多	平年並
果樹共通	果樹カメムシ類	平年並	やや少

太文字の病虫害：向こう1か月の間、発生状況に特に注意を要する病虫害を示す。

* 予報根拠中の記号

- (+)：発生量を多くする要因
- (-)：発生量を少なくする要因
- (±)：発生量が平年並になる要因

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報
(7月15日から8月14日までの天候見通し)

令和5年7月13日
大阪管区气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

近畿地方 1か月予報 (07/15~08/14)		
2023年07月13日14時30分 大阪管区气象台 発表		
向こう1か月 07/15~08/14	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率60%です。
1週目 07/15~07/21	気温	1週目は、高い確率70%です。
2週目 07/22~07/28	気温	2週目は、平年並の確率50%です。
3~4週目 07/29~08/11	気温	3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 07/15~08/14	10% (低い) 30% (平年並) 60% (高い)
		1週目 07/15~07/21	10% (低い) 20% (平年並) 70% (高い)
		2週目 07/22~07/28	20% (低い) 50% (平年並) 30% (高い)
		3~4週目 07/29~08/11	20% (低い) 40% (平年並) 40% (高い)
降水量	近畿太平洋側	向こう1か月 07/15~08/14	40% (低い) 30% (平年並) 30% (高い)
	近畿日本海側	向こう1か月 07/15~08/14	30% (低い) 40% (平年並) 30% (高い)
日照時間	近畿地方	向こう1か月 07/15~08/14	30% (低い) 30% (平年並) 40% (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

イネ

1 【いもち病】（葉いもち）

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少（－）
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）
- (3) その他

5月22日より梅雨明けまで、兵庫県病害虫防除所HPで、いもち病（葉いもち）の感染好適条件の出現状況をBLASTAM情報として提供しているのを参考にと（<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/blastam>）。

2 【紋枯病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少（－）
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）

3 【縞葉枯病】

- (1) 予想：発生量 平年並（一部やや多）
- (2) 根拠：発生現況 やや少（－）
気象予報 1週目は高い、2週目以降は平年並（＋）
降水量は平年並（±）

(3) その他

本病害はヒメトビウンカによって病原ウイルスが媒介される。ヒメトビウンカは別項のとおり、発生量はやや多と予想している。また、一部地域では保毒虫率が平均（1.8％）を大幅に超えた5％以上の値を示している地域もある。各地域の保毒虫率については兵庫県病害虫防除所HPを参考にと（<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/868>）。

4 【セジロウンカ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）

5 【トビイロウンカ】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 少
 気象予報 1週目は高い、(+)
 降水量は平年並 (±)

6 【ヒメトビウンカ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
 気象予報 1週目は高い、(+)
 降水量は平年並 (±)

(3) 防除上の留意点

- ア ヒメトビウンカは、イネ縞葉枯病の媒介虫となるため、本病への対策としては本虫種の防除が重要となる。
- イ 本田におけるイネ縞葉枯病の初期発病株(葉色が薄くなり巻いて垂れ下がる「ゆうれい症状」を表す)は、後期発病(出穂異常)の増加につながるので、速やかに抜き取る。
- ウ 初期発病株が多数確認される場合は、後期発病を予防するため、本虫種に対する本田防除を実施する。
- エ 今年度の第1世代虫(コムギ採集個体)のイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の調査結果については、兵庫県病害虫防除所HPを参考にすること(<https://bo.jo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/868>)。
- オ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し農薬使用基準を守ること。

7 【ツマグロヨコバイ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少 (-)
 気象予報 1週目は高い、(+)
 降水量は平年並 (±)

8 【斑点米カメムシ類】 (アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ)

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少 (-)
 気象予報 1週目は高い、(+)
 降水量は平年並 (±)

9 【イネツトムシ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少 (-)
 気象予報 1週目は高い、(+)
 降水量は平年並 (±)

10 【フタオビコヤガ】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 やや少（－）
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）

11 【コブノメイガ】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 少（－）
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）

なし（青なし）

1 【黒斑病】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 **やや多**（＋）
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 農薬散布時は、薬液が十分かかるように留意する。
 - イ 耐性菌の出現を回避するため、同一系統の薬剤を連用しない。
 - ウ 園地を定期的に見回り、落下した果実・病葉は園外に持ち出し処分する。
 - エ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守ること。
 - オ 防除情報を参考とすること (<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/770>)。

2 【黒星病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）

3 【ハダニ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少（－）
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）

4 【アブラムシ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少（－）
気象予報 1週目は高い、（＋）
降水量は平年並（±）

野菜共通

1 【ハスモンヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並（±）
気象予報 1週目は高い、（+）
降水量は平年並（±）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の幼虫は、ピーマン、ナス、キャベツ、レタスをはじめ多くの野菜類を加害する。
 - イ 卵塊や集団でいる若齢幼虫を見つけたら、すみやかに捕殺する。
 - ウ 中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。
 - エ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守ること。

2 【シロイチモジヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は**やや多**（+）
気象予報 1週目は高い、（+）
降水量は平年並（±）
葉ネギ圃場における幼虫発生量は**やや多**（+）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の加害植物は、ネギ、キャベツ、ピーマン、ナス、レタスをはじめ多くの野菜類のほか、豆類、花き類など広い範囲に及ぶ。
 - イ 本種は茎葉の柔らかい部分を好んで食害する性質があり、定植直後の被害には特に注意すること。
 - ウ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針、防除情報等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守ること。

3 【ハイマダラノメイガ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 誘致植物*（クレオメ）での発生量は平年並（±）
気象予報 1週目は高い、（+）
降水量は平年並（±）

*対象とする害虫が好む植物で、発生状況を調査するために用いられる。

- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種はアブラナ科野菜を特異的に加害する。
 - イ 幼虫が生長点を食害するため、発生を確認してからの防除では手遅れなため、育苗期や定植直後の予防的防除に努める。
 - ウ 播種・定植時や育苗期に、粒剤や灌注で薬剤処理をした場合でも、その後の被害発生に注意する。天候等の条件により期待した防除効果が得られないこともあるので、本圃での薬剤防除の準備をしておくことが望ましい。

エ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守ること。

果樹共通

1 【果樹カメムシ類】(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等)

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少 (-)
気象予報 1週目は高い、(+)
降水量は平年並 (±)
- (3) その他

多食性であるミナミアオカメムシは加西市で平年並の発生が確認されているため、発生や被害を認めたら速やかな防除が必要である。

* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載

(<https://bojo.hyogo-nourinsuisange.jp/>)

病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

病害虫・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLから

「参考資料」を選択して下さい。

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/hyogo>

2022年3月1日より「兵庫県病害虫防除所」Twitterを開設しています。
発生予察情報など病害虫に関する情報を提供しますので、是非フォローお願いします。

Twitterアカウント(https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

